

研究実施のお知らせ

2026年2月17日 ver.1.1

研究課題名

関節鏡視下腱板修復術後における疼痛軌跡と術後3か月アウトカムとの関連を明らかにする後方視的研究

研究の対象となる方

2024年11月から2025年12月までに島根大学医学部附属病院で肩関節腱板断裂に対して関節鏡視下腱板修復術（ARCR）を受けられ、術後3か月以上整形外科外来へ通院された方を対象とします。

研究の目的・意義

肩の腱板断裂に対する手術（ARCR）は広く行われており、一般的に良好な成績が得られますが、一部の患者さんでは術後に痛みが長引く「遷延性術後痛」に移行することがあります。本研究では、術後早期（1週間以内）の痛みの推移（疼痛軌跡）が、術後3か月の痛みや肩の機能とどのように関連しているかを調査します。この関連が明らかになれば、術後のリハビリテーション介入などをより適切な方法へ改善し、手術成績の向上に繋がる可能性があります。

研究の方法

この研究は、当院で手術を受けられた患者さんのデータを用いる後方視的研究です。具体的には、電子カルテ情報から年齢、性別、手術の内容、術後早期（1,3,5,7日）の痛みの強さ、術後3か月の肩の機能スコア（JOA肩スコア）などの医療データを用います。診療で得られた既存の記録のみを使用するため、研究のために新たな検査や費用の負担が追加されることはありません。抽出したデータは、個人を特定できないように番号で管理し、情報の漏えいがないよう厳重に保管します。

研究の期間

2026年3月31日～2028年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院リハビリテーション部が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 佐藤光

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 佐藤光

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457